



五月九日 晴れ

桜もすっかり散り、新緑がまばゆい

ここは青と緑に包まれる

あれ、いつの間にか虫籠から、

「あ、ほら あそこ」

「・・・どこ？」

「ほら ほら、あっち」





三月三十日 晴れ

外はもうすっかり春めいている

色付きはじめた菜の花には 一足早く蝶々が顔を出す

「ん ん んん」

あと少し、もう少し

ね、もうこんな高い段もひとりで登れるんだ

六月二日 雨

思いつきり走り回るのは今日はお預け

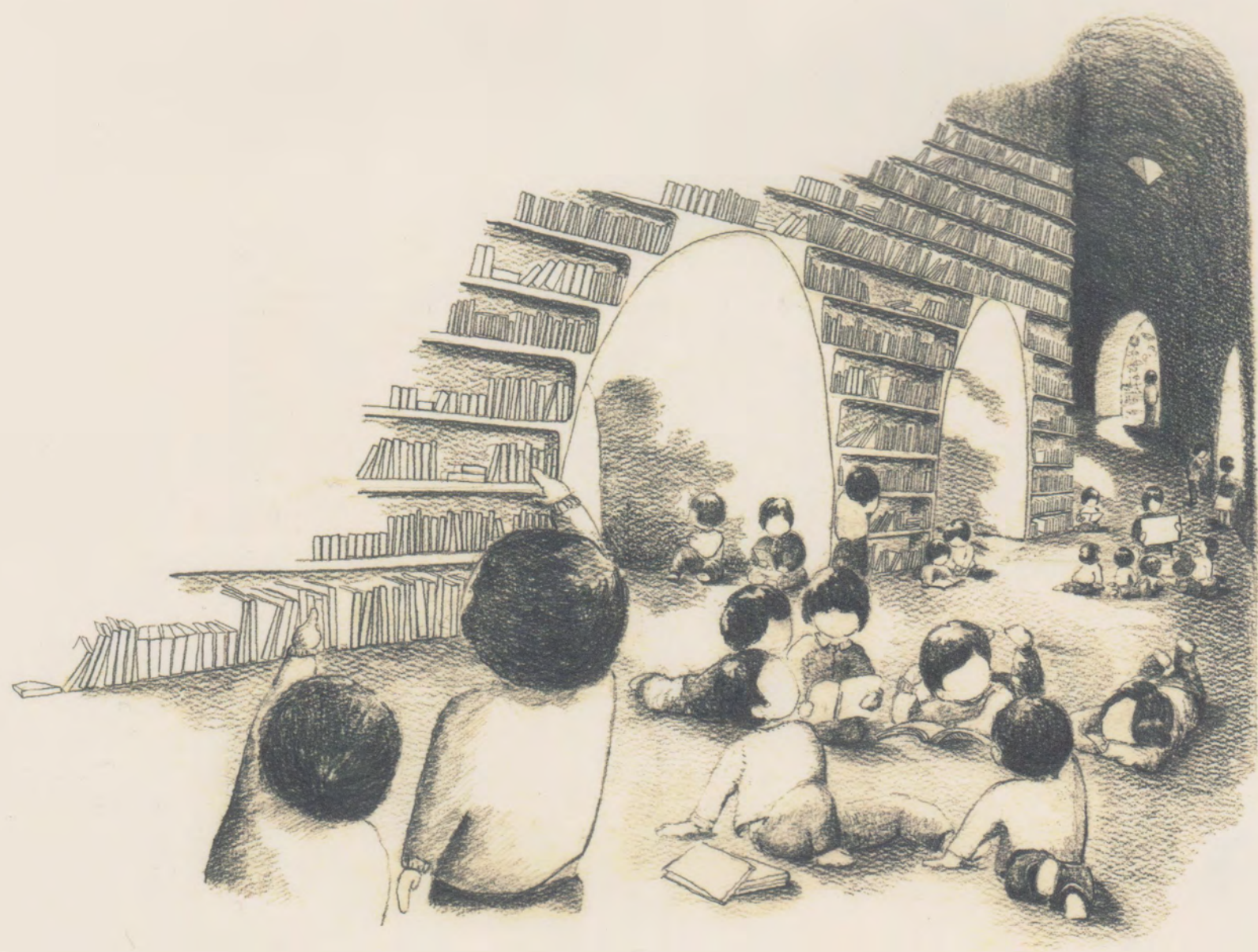
おとなしく 本を見上げて歩く

あっちにもこっちにも そっちにもどこまでも本が並んでいる

「うわぁ・・・あの本どこだろう」

「ね、あっちあっち あの本じゃない？」

「・・・あ、ほんとだ」



神

樂



保

育

園



こどもがこどもを生きる空間

この世に生を受け初めて過ごす場所
トンボもバッタもひまわりもここで初めて出会った
初めてケンカをしたのひとりです
初めて自分の名前がひとりです
初めて書いたのもここだった

長い長い人生のはじまりの六年間を生きる場所

教室も遊具もない保育園

敷地
所在地
京都府京都市左京区吉田神楽岡町

青と緑の岡

神楽岡

京都市の北東吉田山の東傾斜地に位置する
苔むした瓦屋根の町並みに大きなクヌギの森が木陰をつくる岡

眼前に比叡山を臨み緑に覆われたこの岡は空のにおいがする
ここはいつもより少し空が広いせいだろうか

街をぬけ岡をのぼる

そこにはもうひとつの町がある



縮尺 四〇〇分の一

空間概念模型

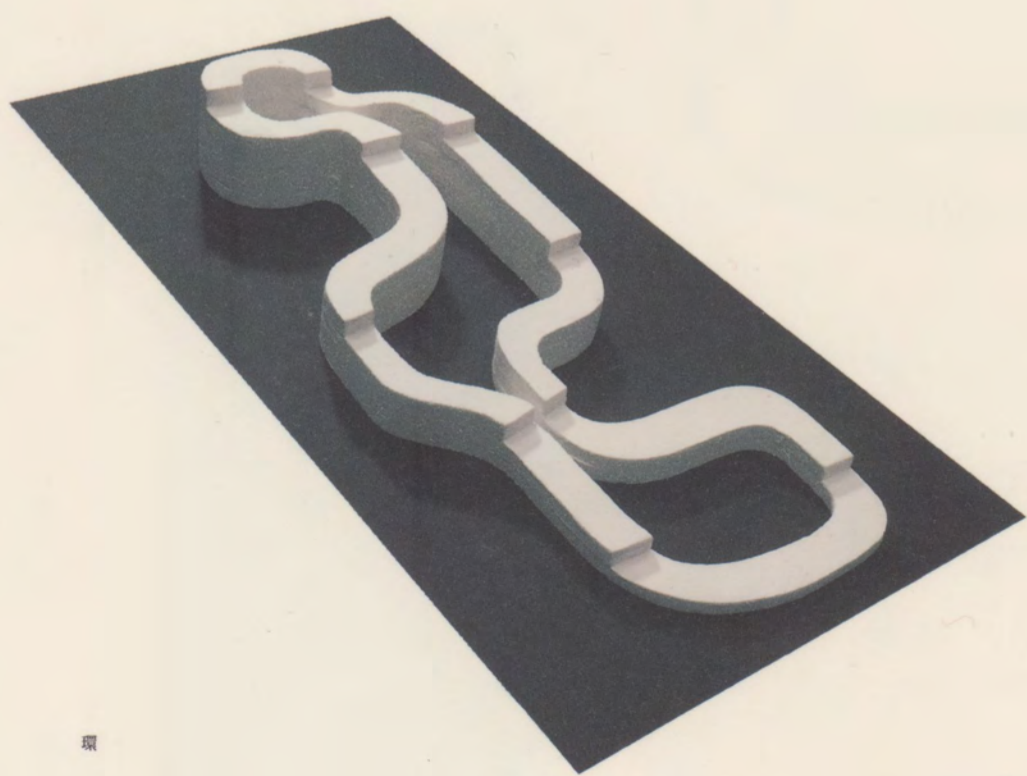
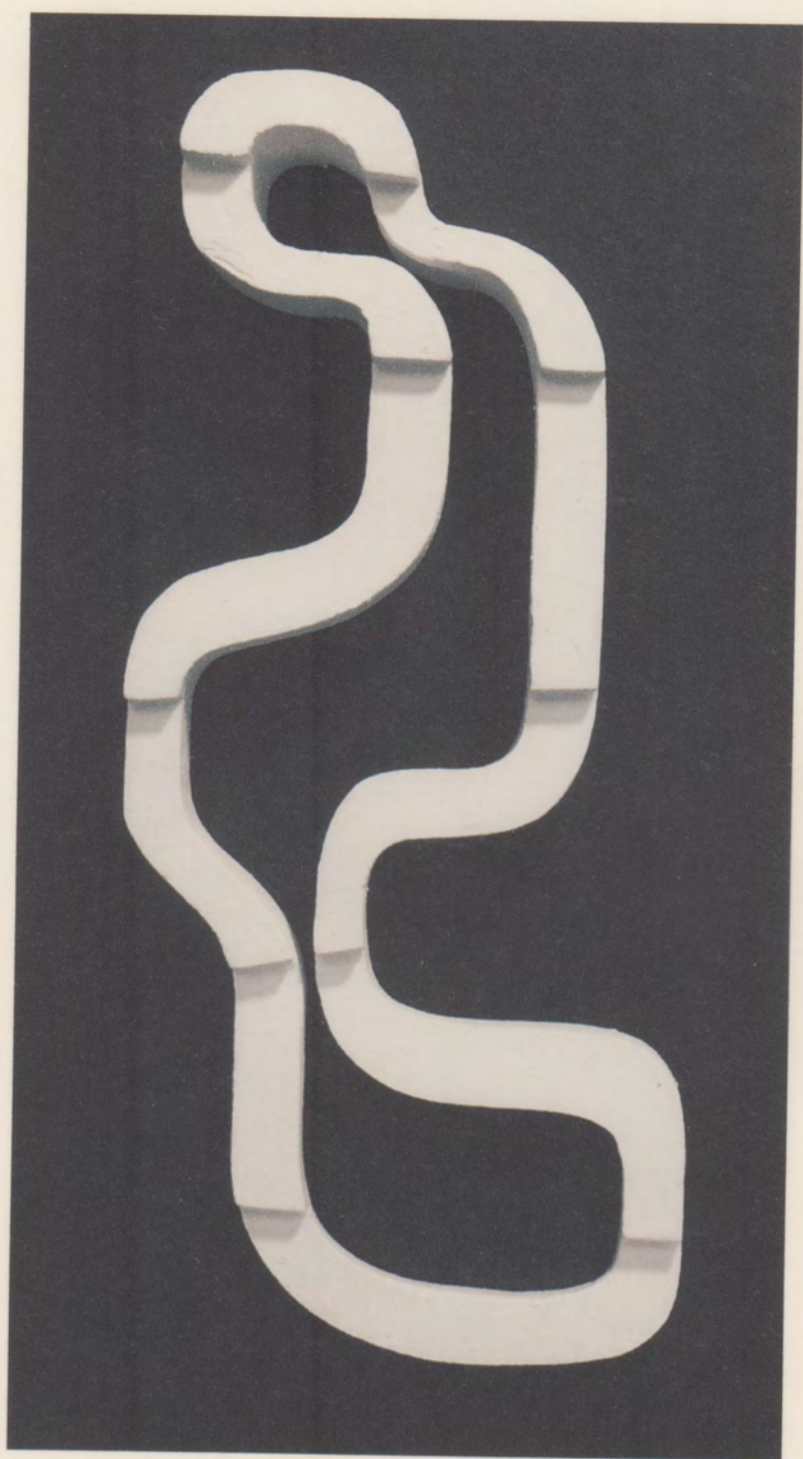
斜面に一本の環になった道を通す

環は斜面によって
斜面は環によって

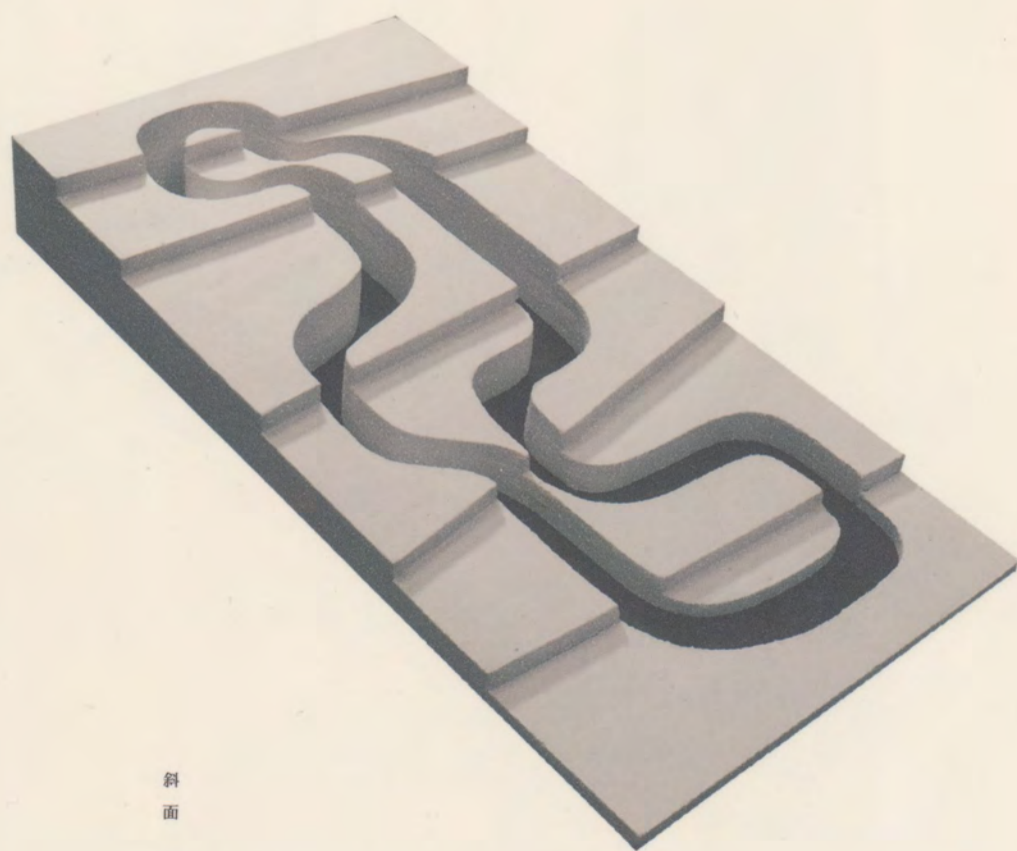
互いに関係し合い様々な空間が表情を見せる

それはまるで風景を旅する山岳列車のように
未だ見ぬ世界に出会わせてくれる

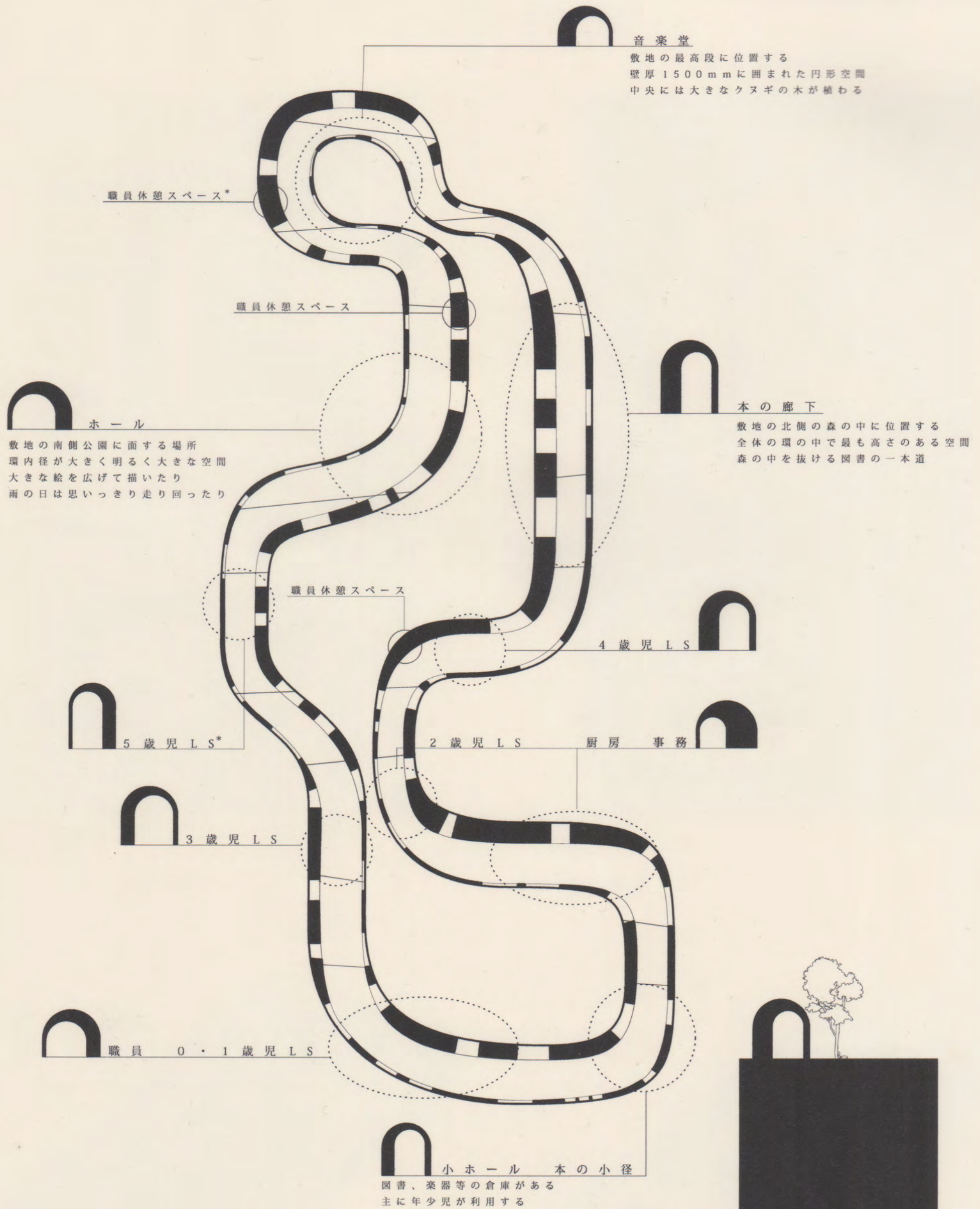
あの山の向こうにはどんな世界が待っているのだろう



環
模
型



斜
面
模
型

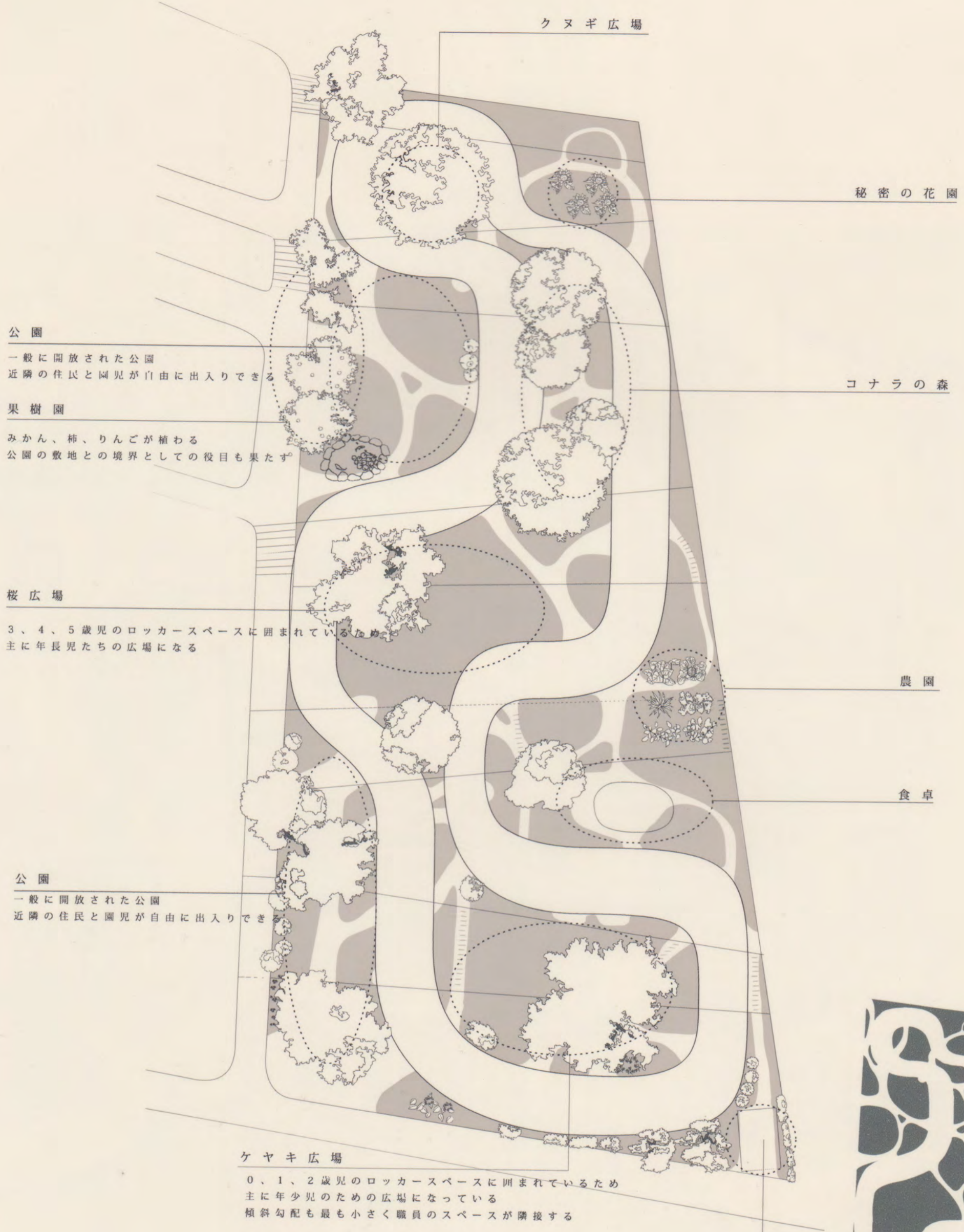


環 環内に全ての機能が内包される
ひと続きの環は斜面と曲線によってのみ分節される

* L.S. : ロッカースペース
基本的に保育室は割り当てられず
ロッカーの位置のみが決められている
登園、帰りの際に唯一必ず立ち寄る場所

構成 環 職員休憩スペース :
最下段のメイン職員スペース以外に、常時職員が待機可能なスペース
縦長の敷地のために敷地全体の一望監視が不可能であり
安全性の面から、職員の監視が行き届くように設けたもの
簡単な給湯室と家具からなるスペース

断面図
全環共通二重アーチ型
高さ、壁厚が変化することで
内外の距離を規定する



公園
 一般に開放された公園
 近隣の住民と園児が自由に出入りできる

果樹園
 みかん、柿、りんごが植わる
 公園の敷地との境界としての役目も果たす

桜広場
 3、4、5歳児のロッカースペースに囲まれているため
 主に年長児たちの広場になる

公園
 一般に開放された公園
 近隣の住民と園児が自由に出入りできる

ケヤキ広場
 0、1、2歳児のロッカースペースに囲まれているため
 主に年少児のための広場になっている
 傾斜勾配も最も小さく職員のスペースが隣接する

搬入車用駐車場

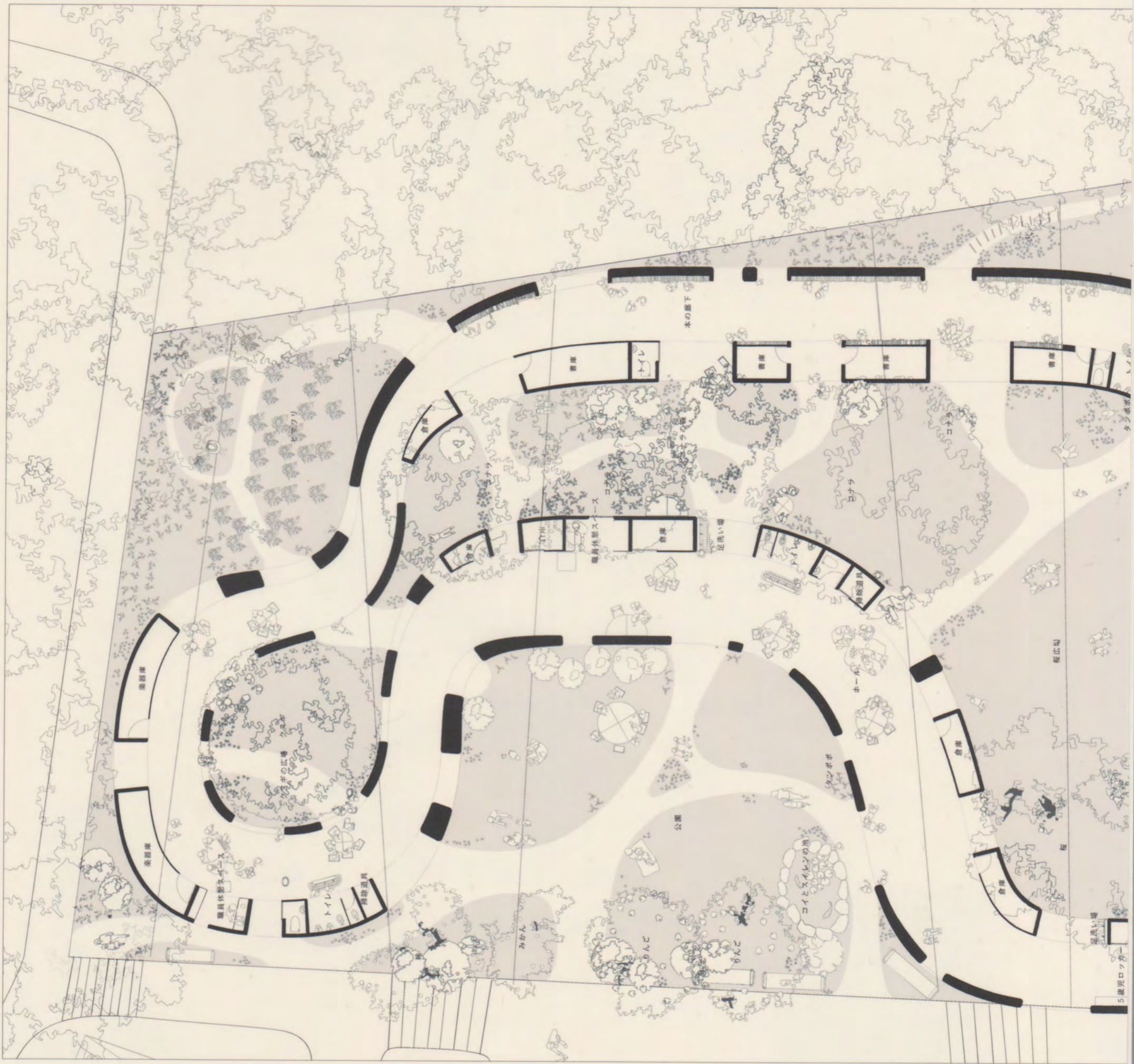
斜面構成図

環によって切り取られた斜面の余白は
 それぞれがまったく違った風景のように色づく

斜面南側の二つの余白は公共の公園となる
 そこは園児たちの広場であり
 そこは近所のおばあさんの散歩道である



あぜみち図
 一本の環の周りに自然と作られる道
 よく通る道は太く
 秘密の抜け道は細く
 来年はきっと違うあぜみちができる



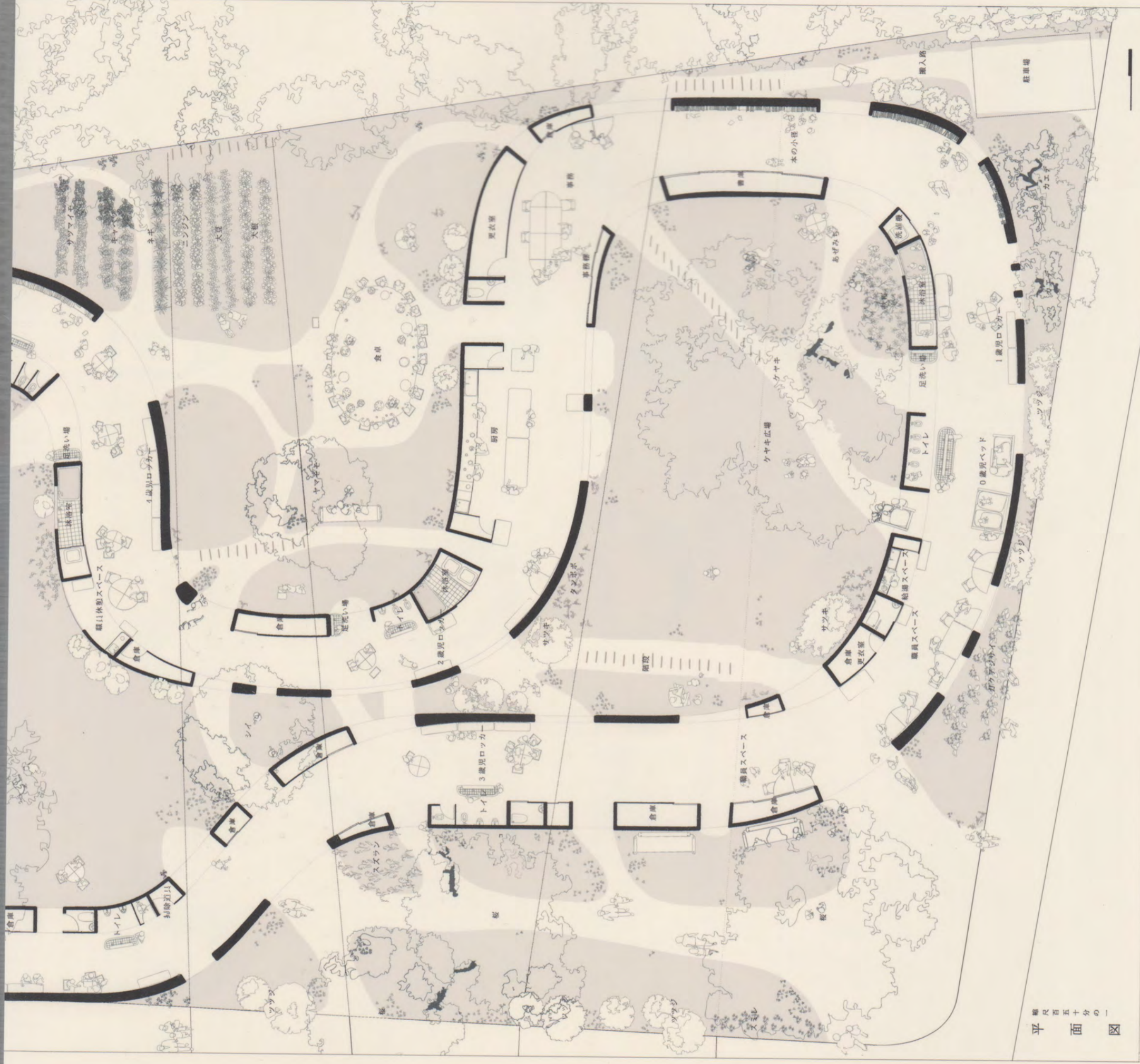
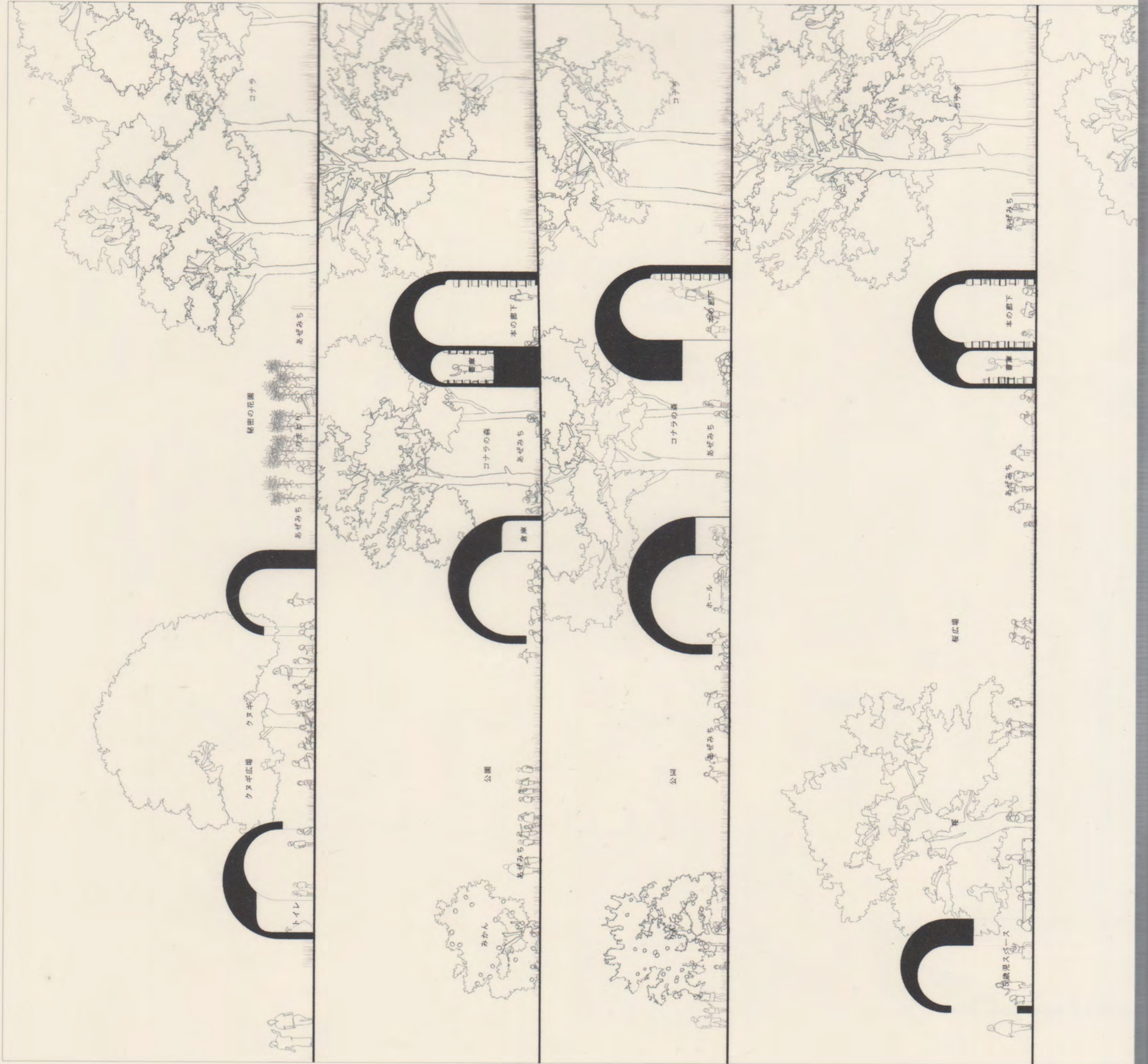
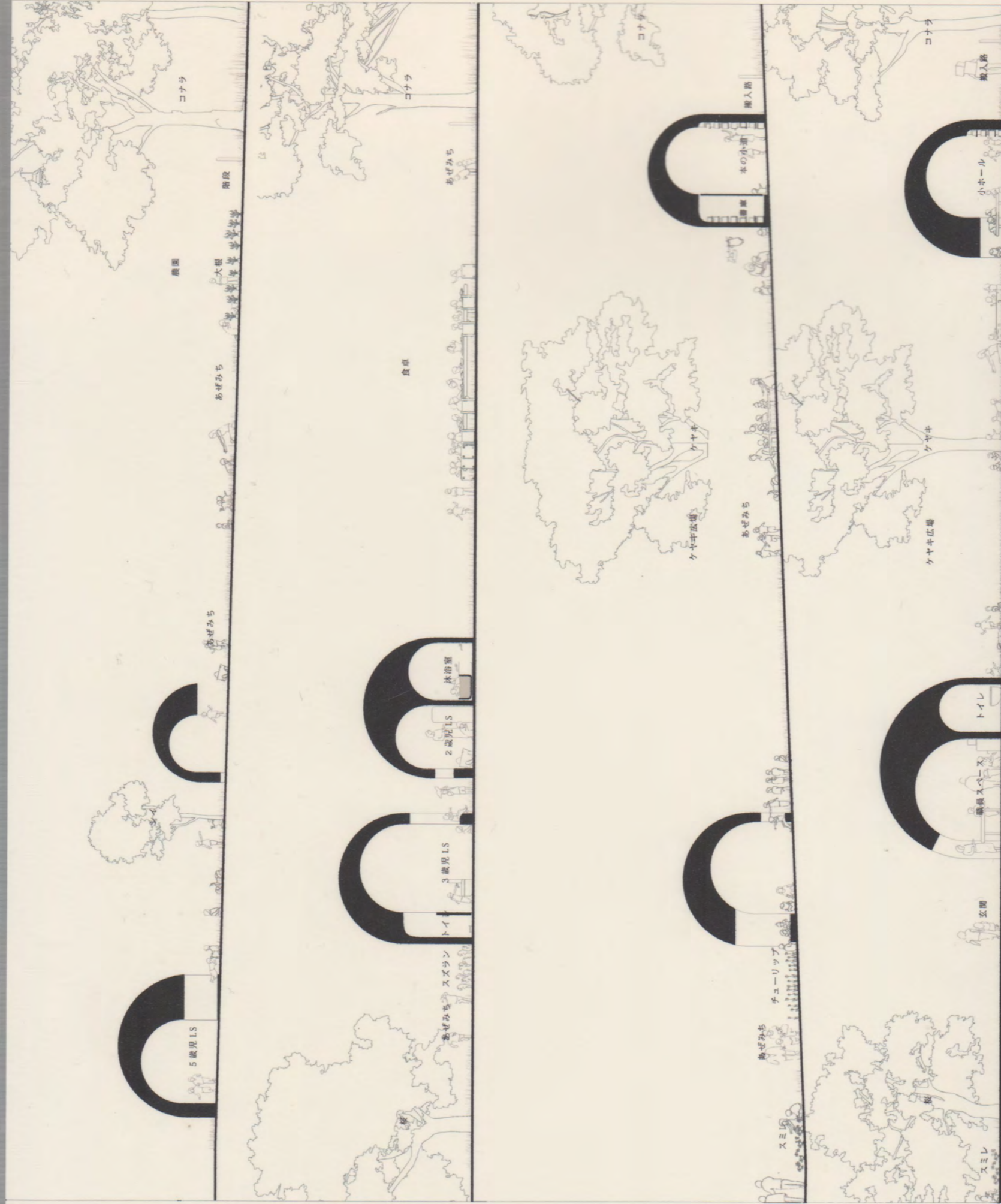
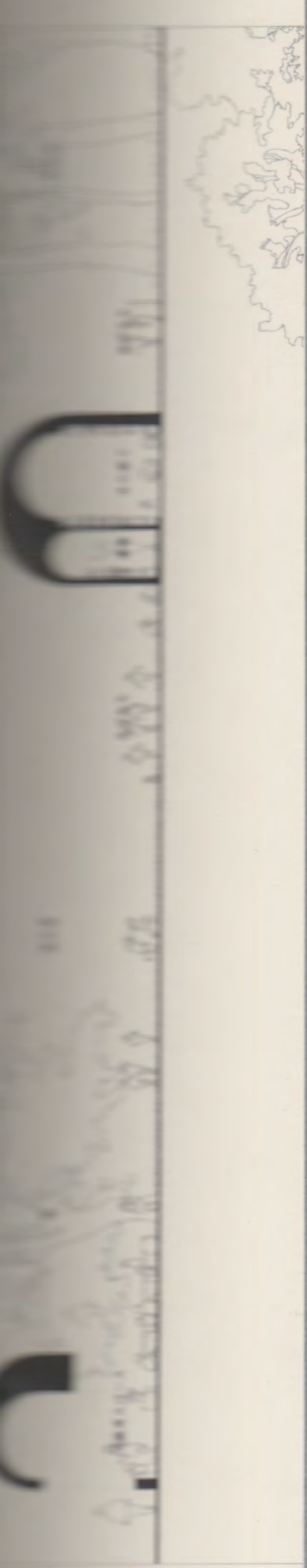
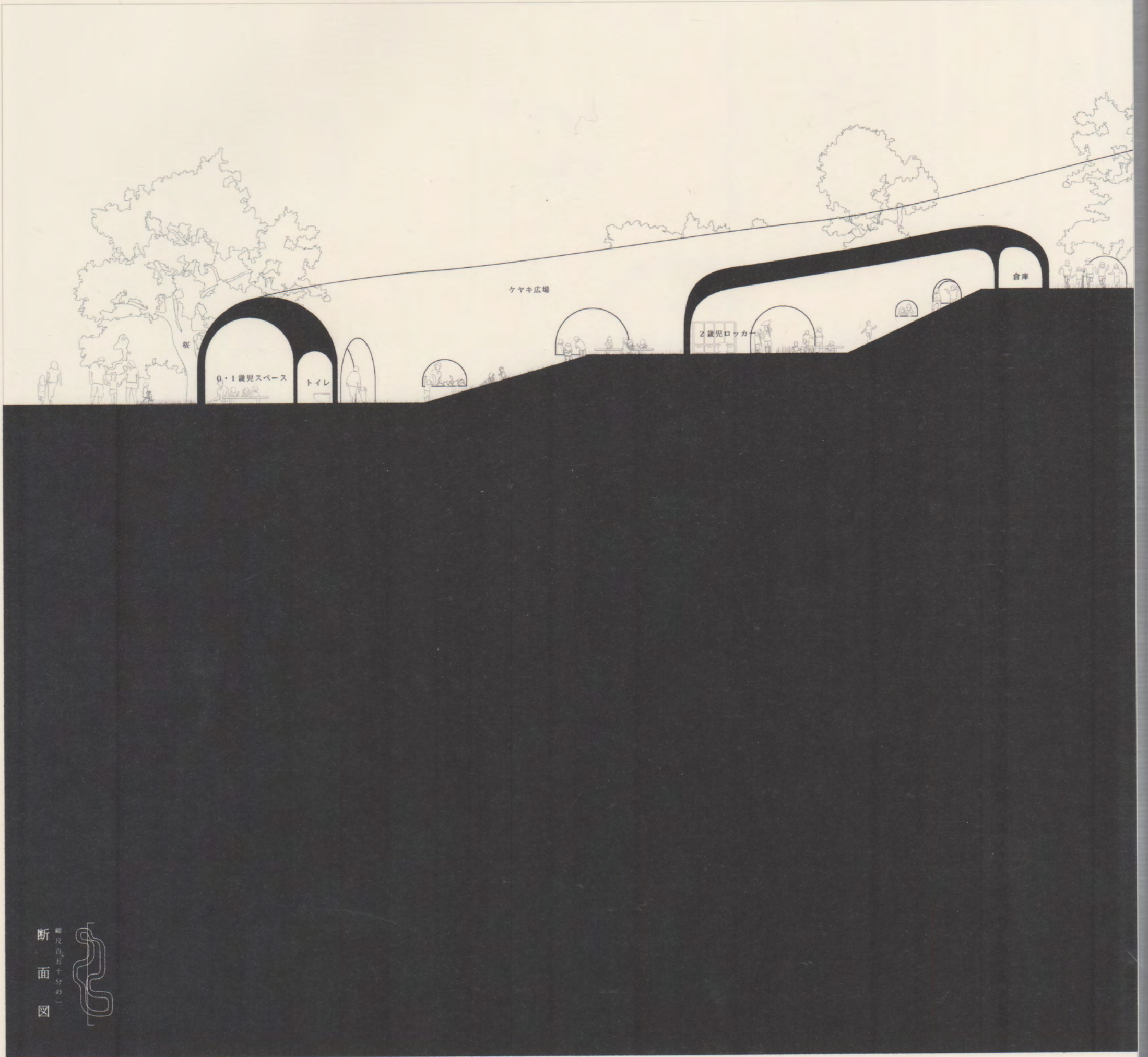


図 平面
一 分の五十五尺







断面図



縮尺 五十分の一





西
立
面
図
縮尺三百分の一



東
立
面
図
縮尺三百分の一



南
立
面
図
縮尺三百分の一



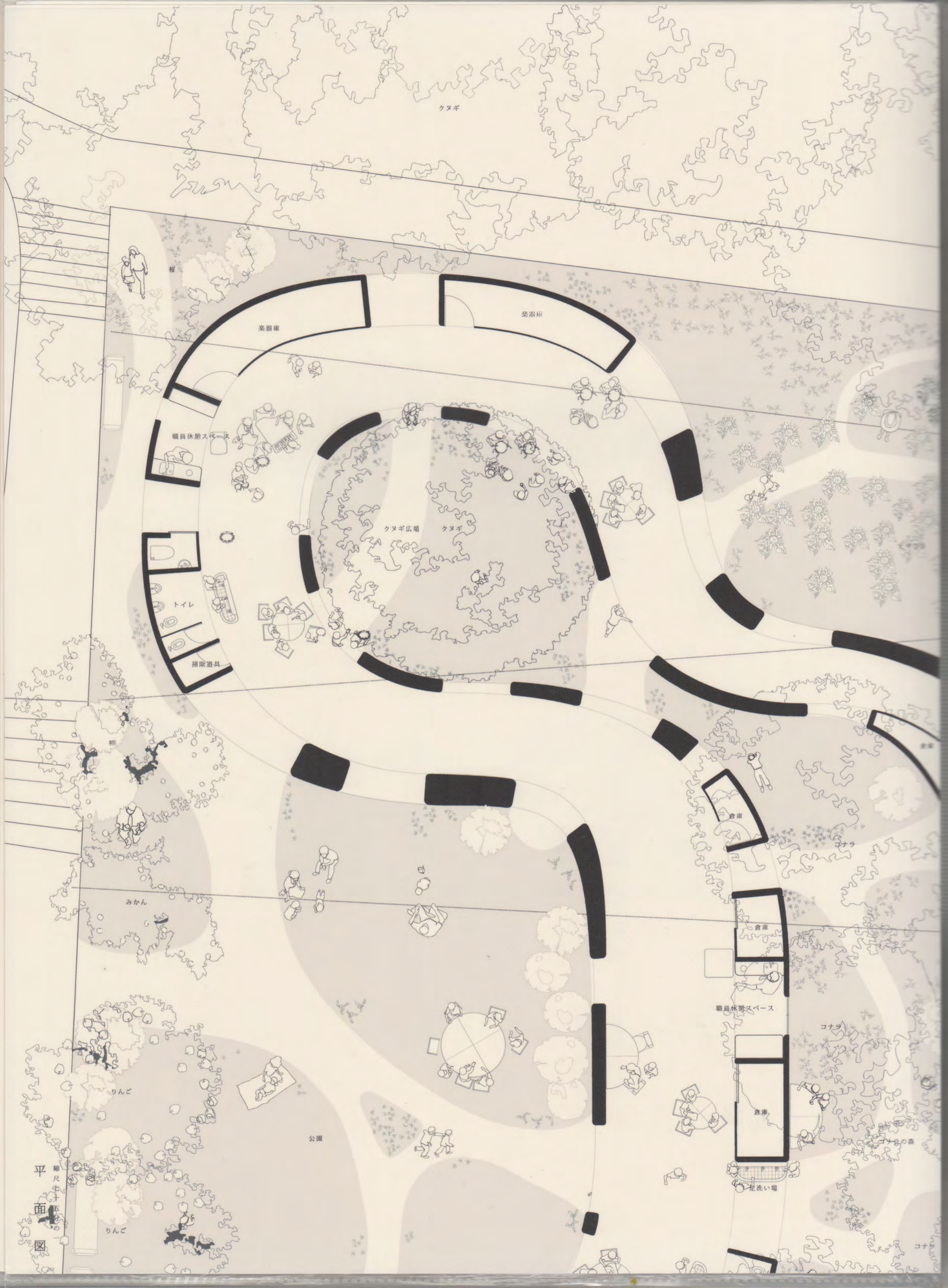
北
立
面
図
縮尺三百分の一



南
立
面
図
縮尺 三百分の一



北
立
面
図
縮尺 三百分の一



クヌギ

楽器庫

楽器庫

職員休憩スペース

クヌギ広場

クヌギ

トイレ

掃除道具

倉庫

コナラ

みかん

職員休憩スペース

コナラ

りんご

公園

倉庫

地洗い場

平

面

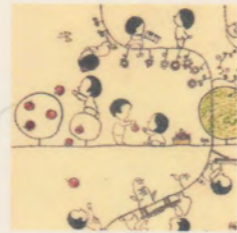
りんご

コナラ



音楽堂

敷地の最高段に位置する
厚さ1500mmに囲まれた円形空間
中央には大きなクヌギの木が植わる

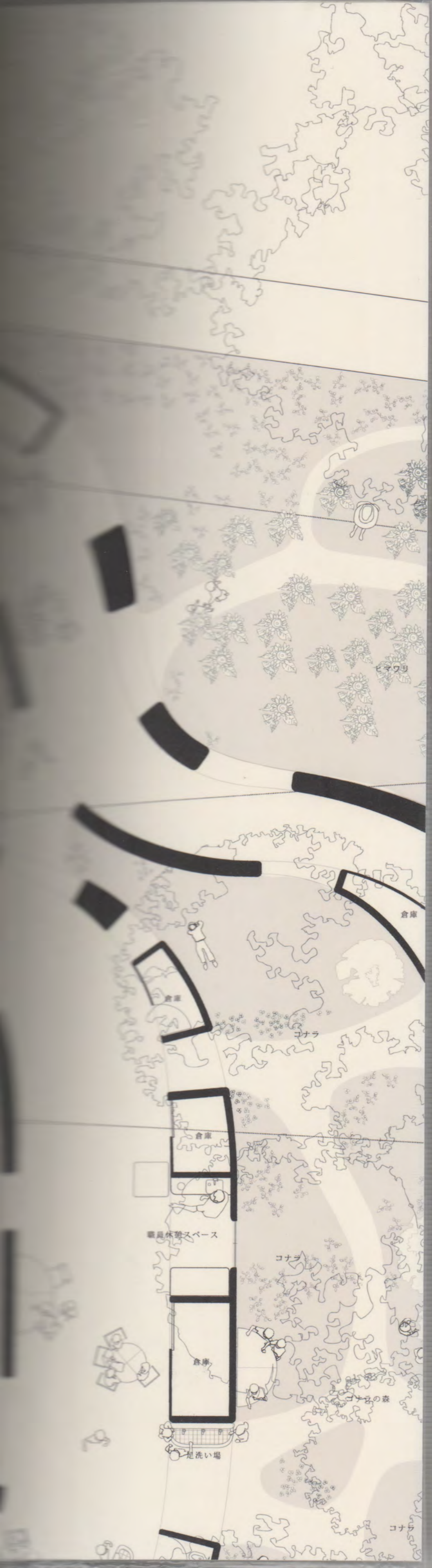
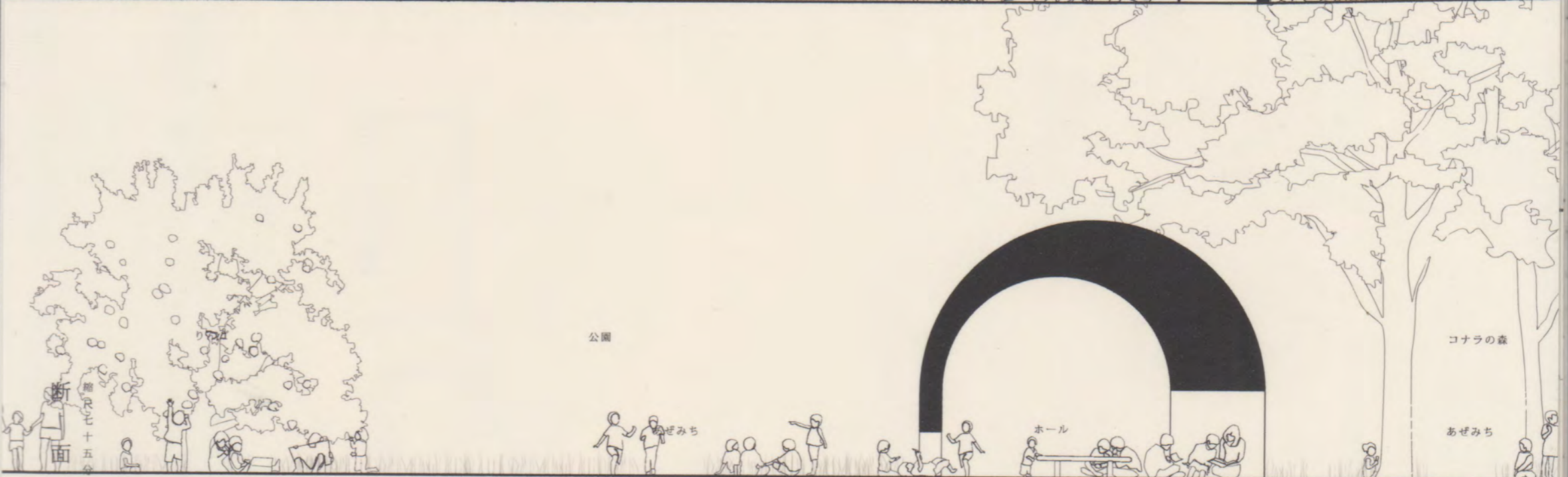
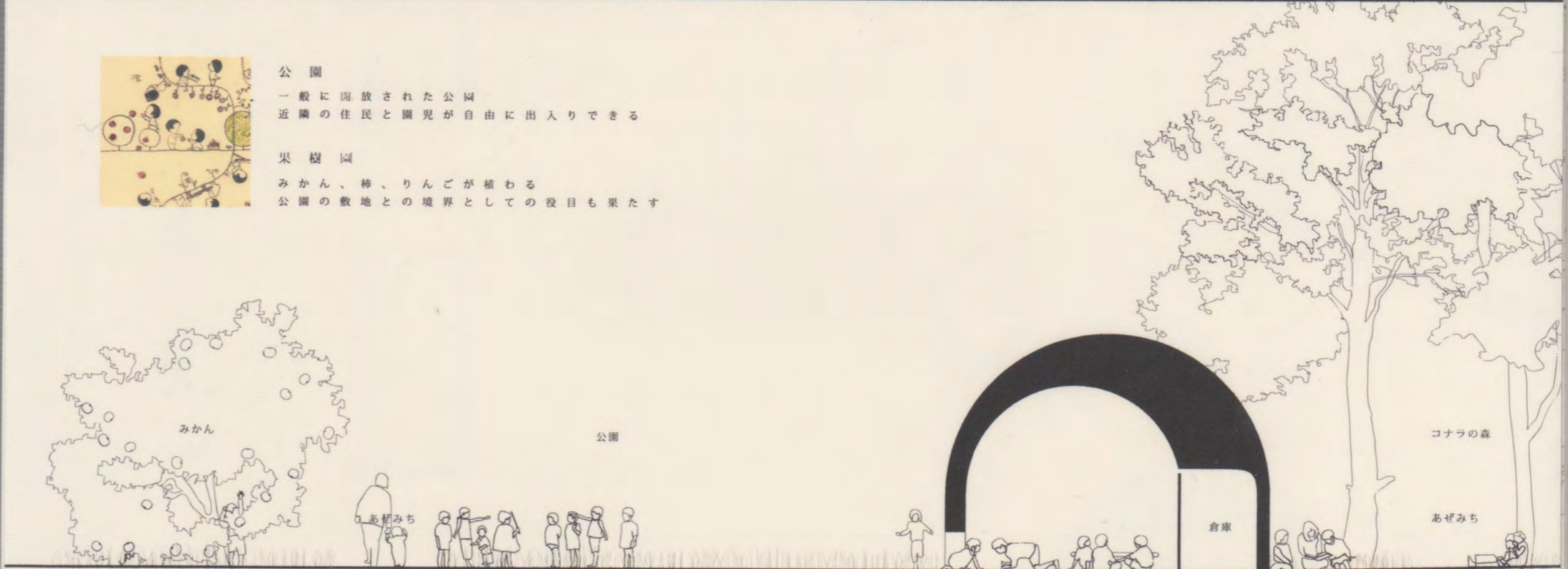


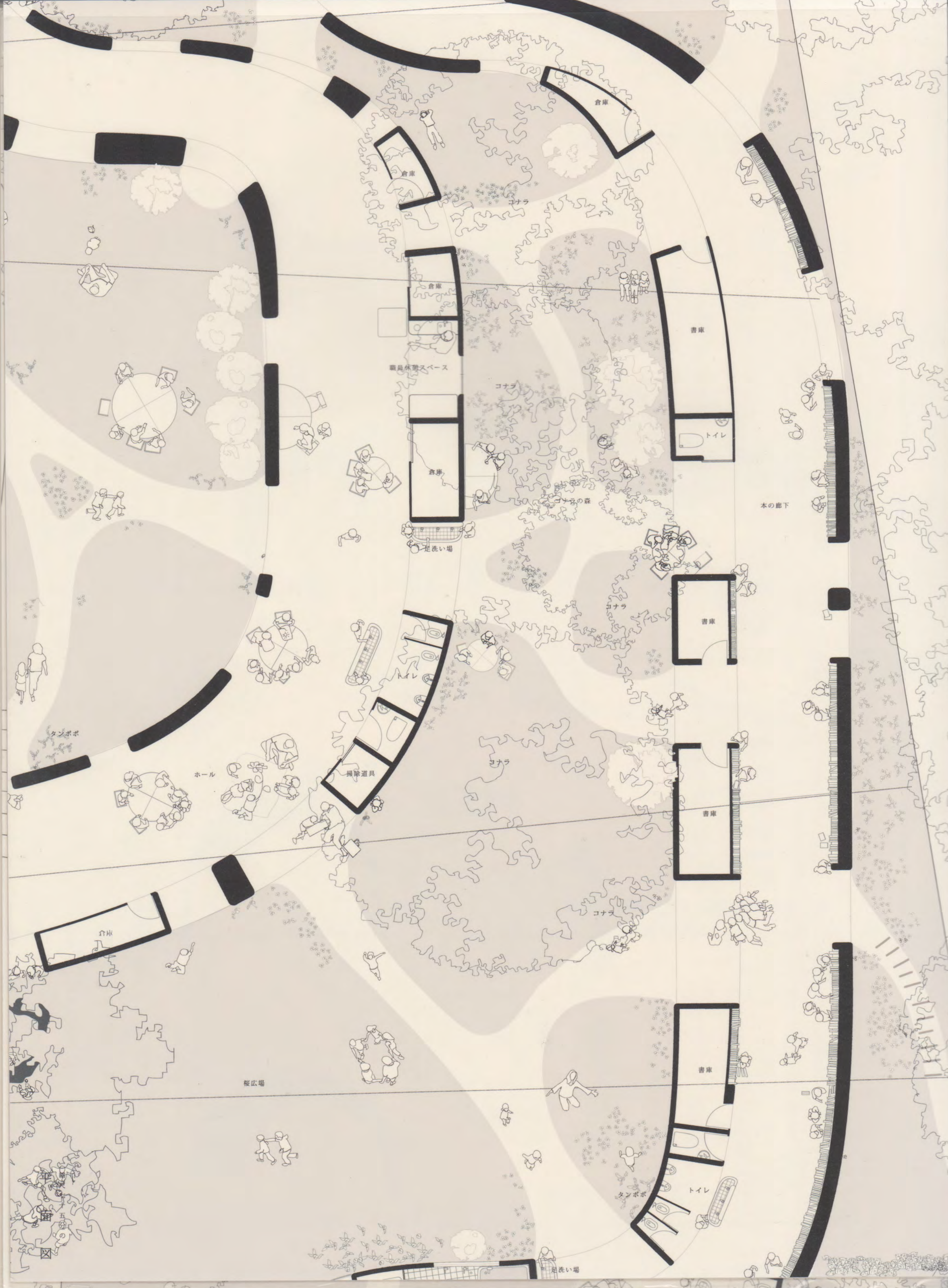
公園

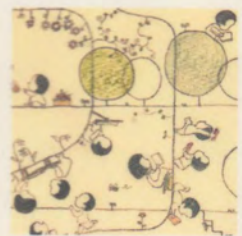
一般に開放された公園
近隣の住民と園児が自由に出入りできる

果樹園

みかん、柿、りんごが植わる
公園の敷地との境界としての役目も果たす

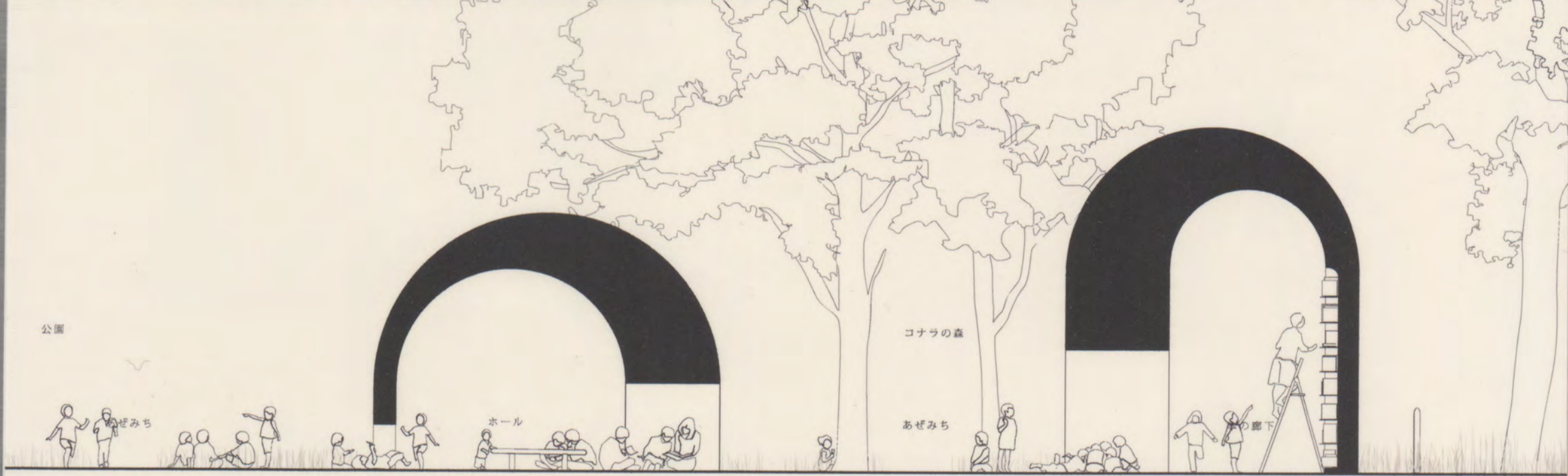






ホー ル
 敷地の南側に公園に面する大きな空間
 敷地の北側に森の中にも位置する空間
 敷地の全体の中を抜ける一本道

本 の 廊 下
 敷地の北側に森の中にも位置する空間
 敷地の全体の中を抜ける一本道



断
 面
 図
 縮尺七十五分の一



コナラ

桜広場

5歳児ロッカー

足洗い場

倉庫

トイレ

掃除道具

職員休憩スペース

足洗い場

4歳児ロッカー

ツツジ

シイ

ヤマモモ

スズラン

足洗い場

桜

桜

トイレ

3歳児ロッカー

2歳児ロッカー

足洗い場

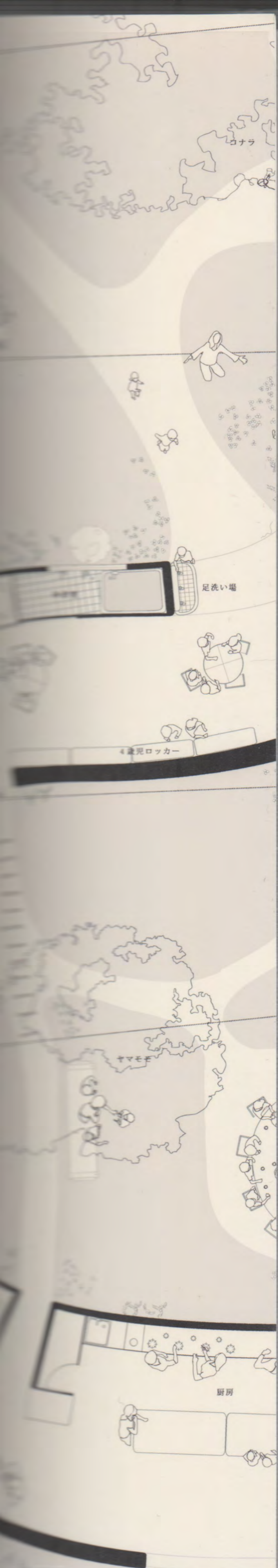
厨房

平面
縮尺七十五分の一

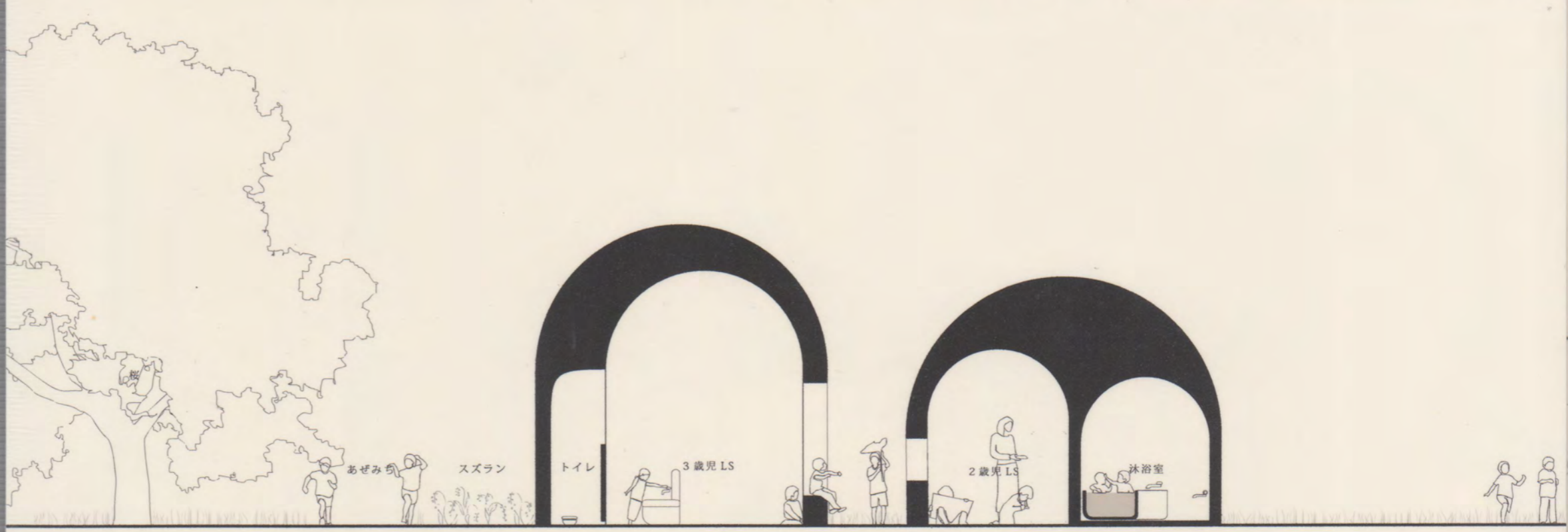
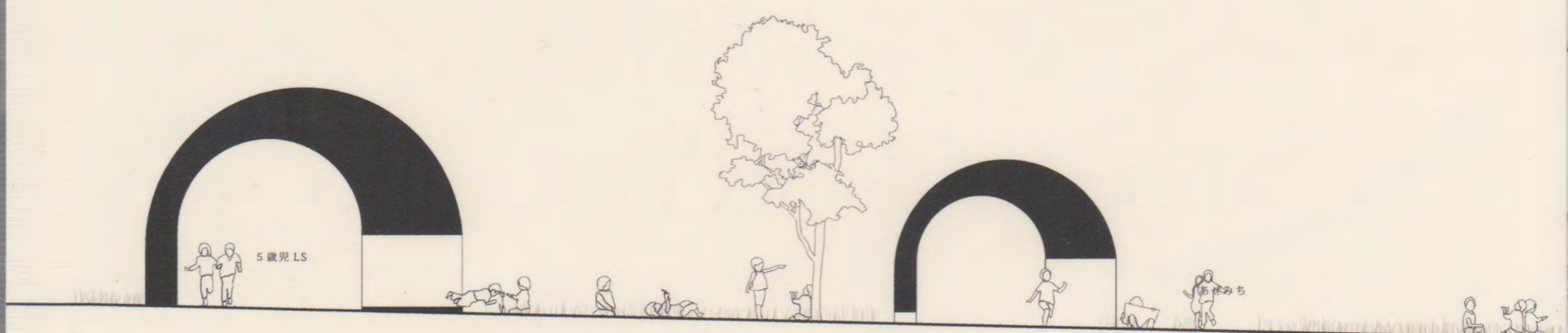
ツツジ

サツキ

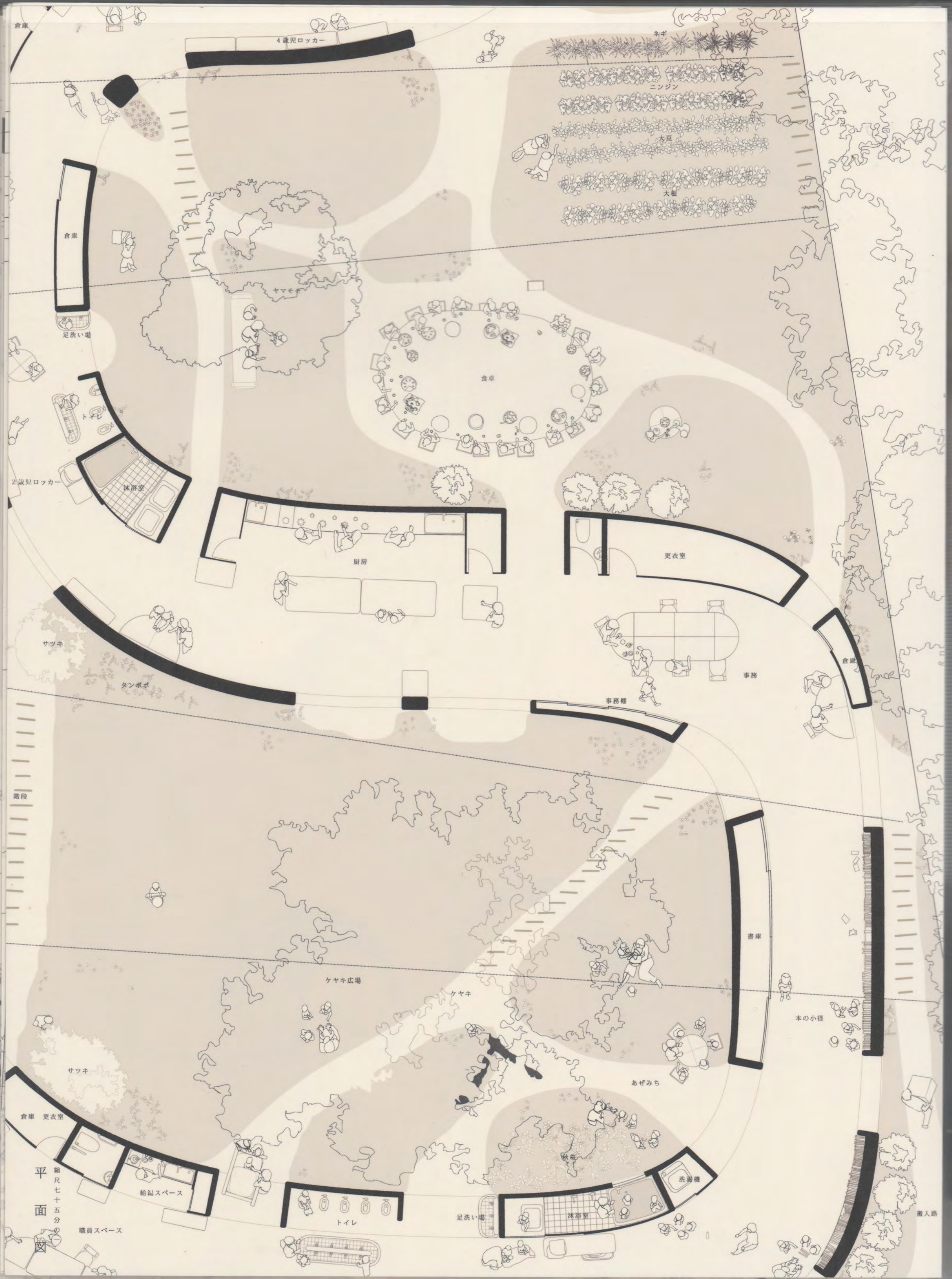
タンポポ



LS : ロッカースペース
 基本的に保育室は割り当てられず
 ロッカーの位置のみが決められている
 登園、帰りの際に唯一必ず立ち寄る場所



断面図
 縮尺七十五分の一



4歳児ロッカー

ネギ

ニンジン

大豆

大豆

大豆

倉庫

足洗い場

ヤマモモ

食卓

沐浴室

2歳児ロッカー

厨房

更衣室

サツキ

タンポポ

事務

倉庫

事務棟

階段

ケヤキ広場

ケヤキ

書庫

本の小径

サツキ

あぜみち

倉庫 更衣室

平面
幅尺七十五分の

給湯スペース

職員スペース

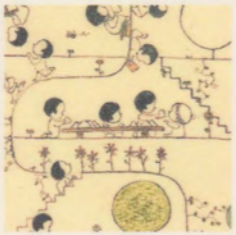
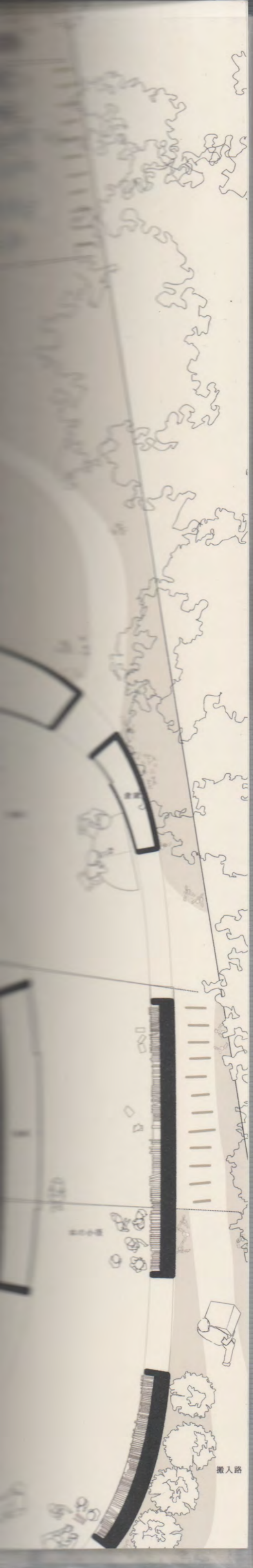
トイレ

足洗い場

沐浴室

洗濯機

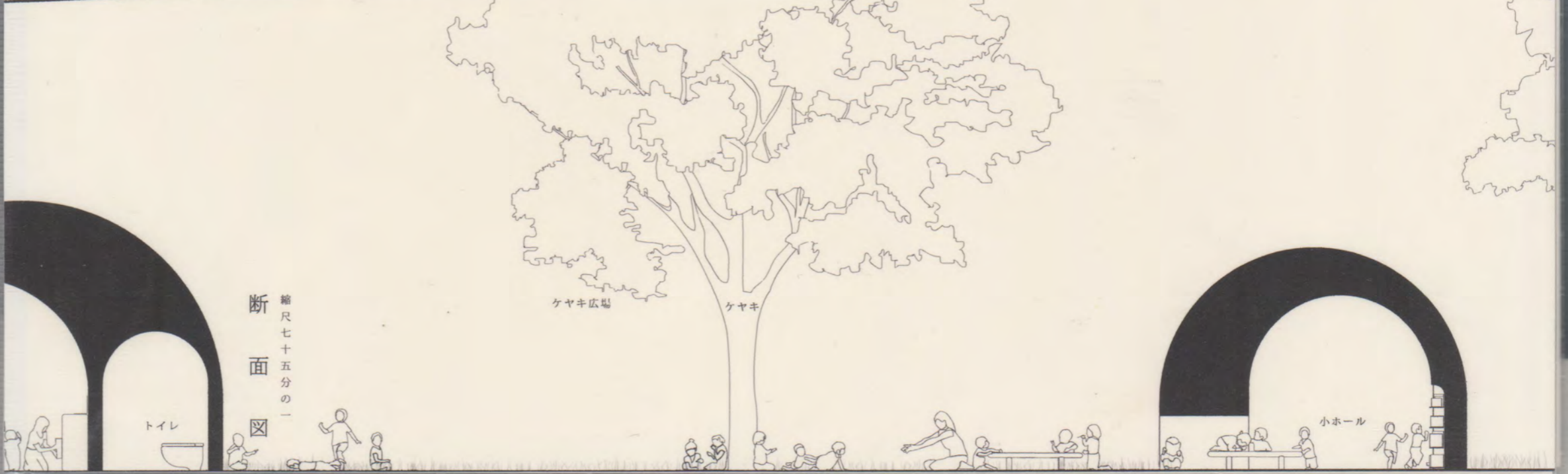
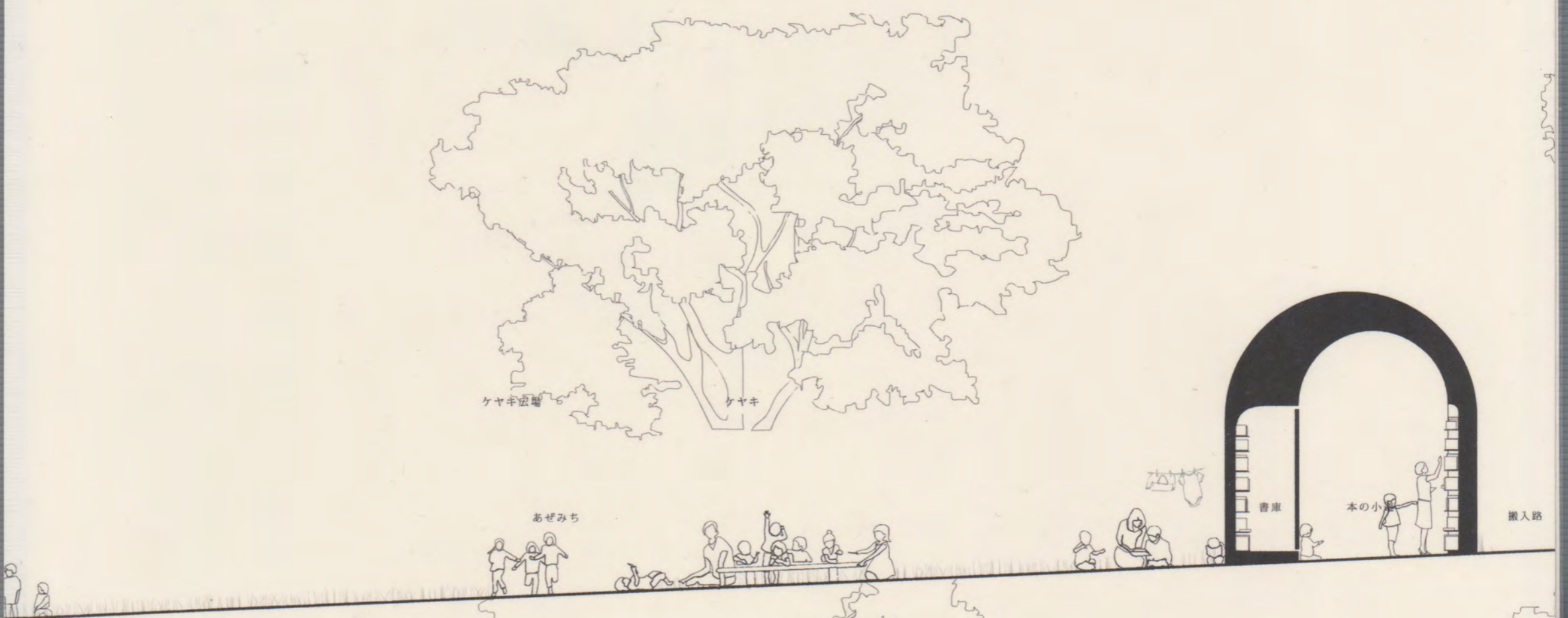
搬入路



農園

食卓

大根、にんじん、大豆、さつまいも。
自分たちで育て、自分たちで食べる。



断面

縮尺七十五分の一

トイレ

小ホール

八月六日 晴れ

この季節になると 本当によくあぜみちが浮かび上がる
みんなの通った足跡が みんなの道を育てていく
幼い建築が少しづつ少しづつ育っていく

「おーい」

「おーい、こっちこっち」

